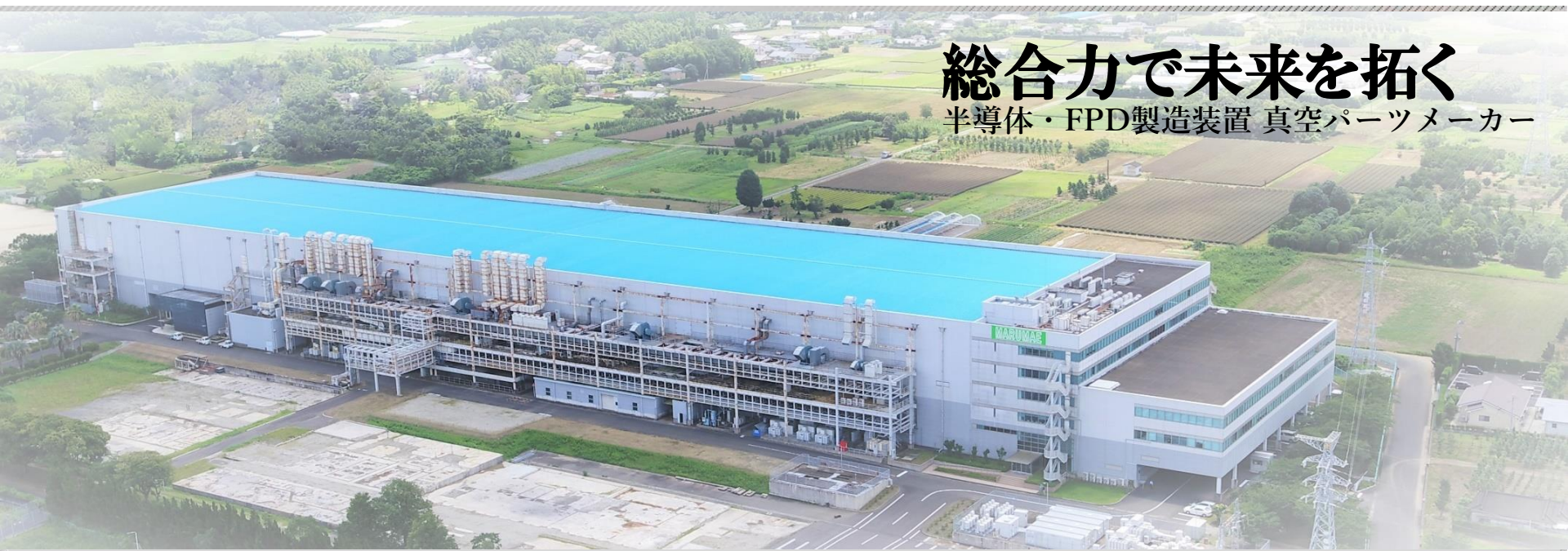


東証(TSE):6264

株式会社マルマエ
2022年8月期 第1四半期決算 補足資料

2021年12月28日

総合力で未来を拓く
半導体・FPD製造装置 真空パーツメーカー



1. 決算概要

PL分析

PL

	2021年8月期 第1四半期累計期間		2022年8月期 第1四半期累計期間		対前年同期 増減率 (%)
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)	
受注高 ※	1,110	—	2,496	—	124.8
受注残高 ※	826	—	2,411	—	191.8
売上高 ※	1,100	100.0	1,938	100.0	76.1
売上原価 ※	767	69.7	1,150	59.3	49.9
売上総利益	333	30.3	788	40.7	136.3
販売管理費	133	12.1	193	10.0	44.9
営業利益	200	18.2	595	30.7	197.0
経常利益	200	18.2	592	30.6	196.0
特別損益	0	0.0	0	0.0	△100.0
当期純利益	137	12.5	422	21.8	206.5
EPS (円)	10.76	—	32.98	—	206.5

Point

①受注状況 ※

- 半導体分野：1,873百万円
(対前年同期：107.4%増)
- F P D分野：619百万円
(対前年同期：300.6%増)
- その他分野：3百万円
(対前年同期：93.0%減)

②売上高 ※

- 対前年同期76.1%の増加
※分野別の詳細は次頁

③売上原価 ※

- 材料費 ※：185百万円増加
(対前年同期：122.6%増)
- 外注加工費：192百万円増加
(対前年同期：145.7%増)
- 労務費：99百万円増加
(対前年同期：40.3%増)
- 減価償却費：11百万円増加
(対前年同期：8.1%増)

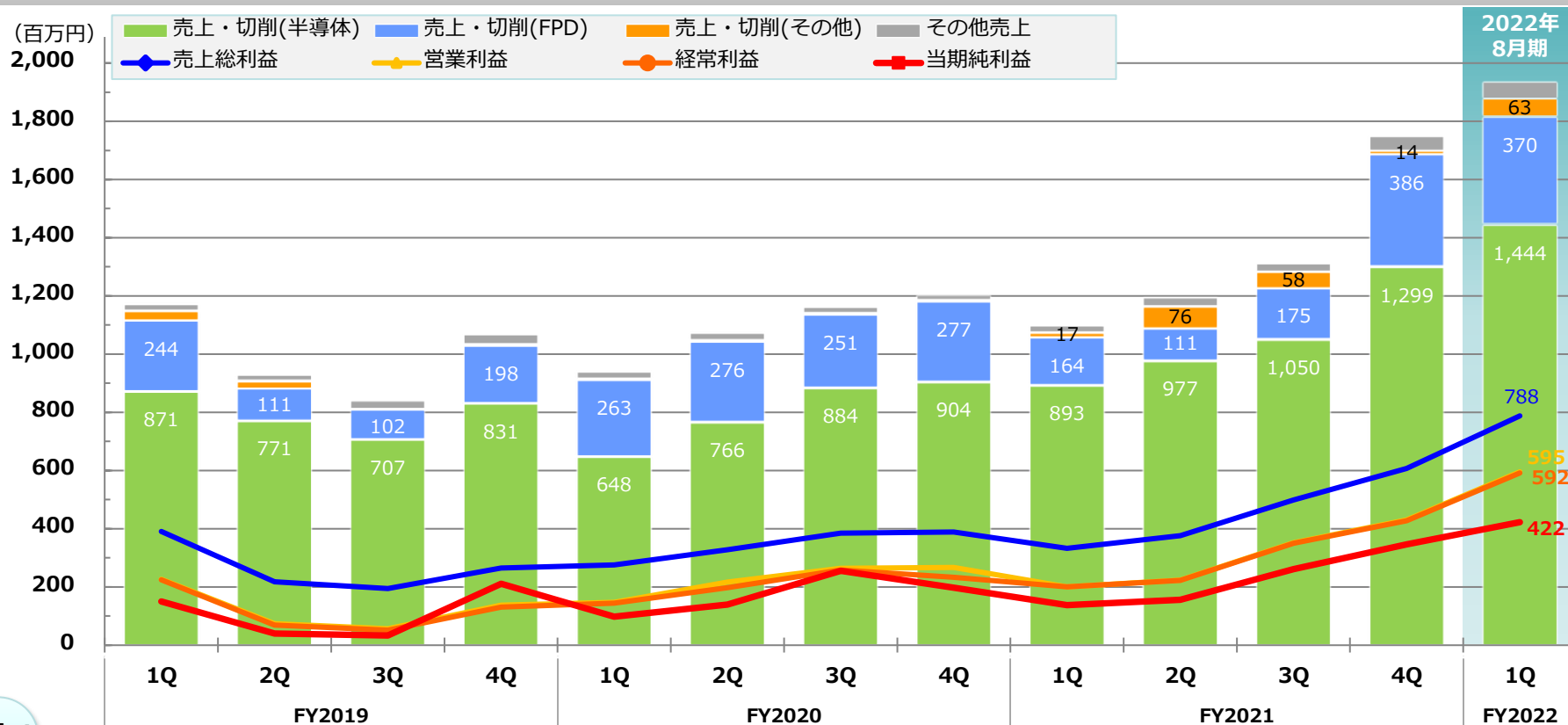
④販売管理費

- 販管人件費：16百万円増加
- 研究開発費：21百万円増加

※ 2022年8月期第1四半期累計期間の受注高および受注残高には、有償支給材分が含まれております。同売上高、売上原価および材料費の対前年同期増減率については、「収益認識に関する会計基準」等を適用する前の前年同四半期の実績値を基に算定しており、次頁以降も同様に算定しております。

1. 決算概要

四半期業績の推移



Point

①売上高は、半導体分野過去最高でFPD分野も好調

- 半導体分野：1,444百万円（対前年同期：61.6%増）
 - ・半導体分野は市場環境良く四半期過去最高更新
- FPD分野：370百万円（対前年同期：125.2%増）
 - ・市場改善とシェア拡大で売上回復

- その他分野：63百万円（対前年同期：257.2%増）
 - ・太陽電池製造装置部品の売上開始

②損益面は売上高増加等に伴い向上

- ・受注損失引当金とたな卸資産の評価減が減少
- ・当期純利益422百万円（対前年同期：206.5%増）

※グラフは四半期毎の会計期間の数値ですが、Pointのコメントは当期の累計期間の数値となっております。

1. 決算概要

B/S分析

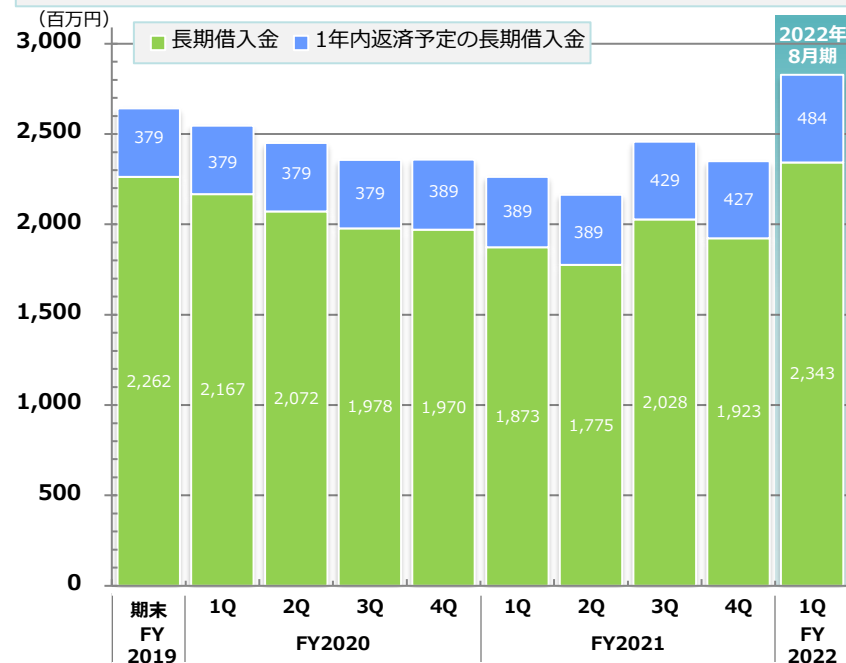
B/S

	2021年8月期 会計年度末 (百万円)	2022年8月期 第1四半期末 (百万円)
流動資産	4,813	5,542
現金及び預金	2,505	2,628
売上債権 (受取手形・売掛金・電子記録債権)	1,685	2,126
たな卸資産	597	752
固定資産	4,929	5,251
建物・土地	2,358	2,356
機械及び装置	2,273	2,538
流動負債	1,452	1,839
有利子負債(短期)※	427	484
固定負債	1,963	2,384
長期借入金	1,923	2,343
負債合計	3,415	4,224
純資産合計	6,327	6,570
総資産	9,742	10,794

※ 有利子負債(短期)：短期借入金+1年内返済予定の長期借入金

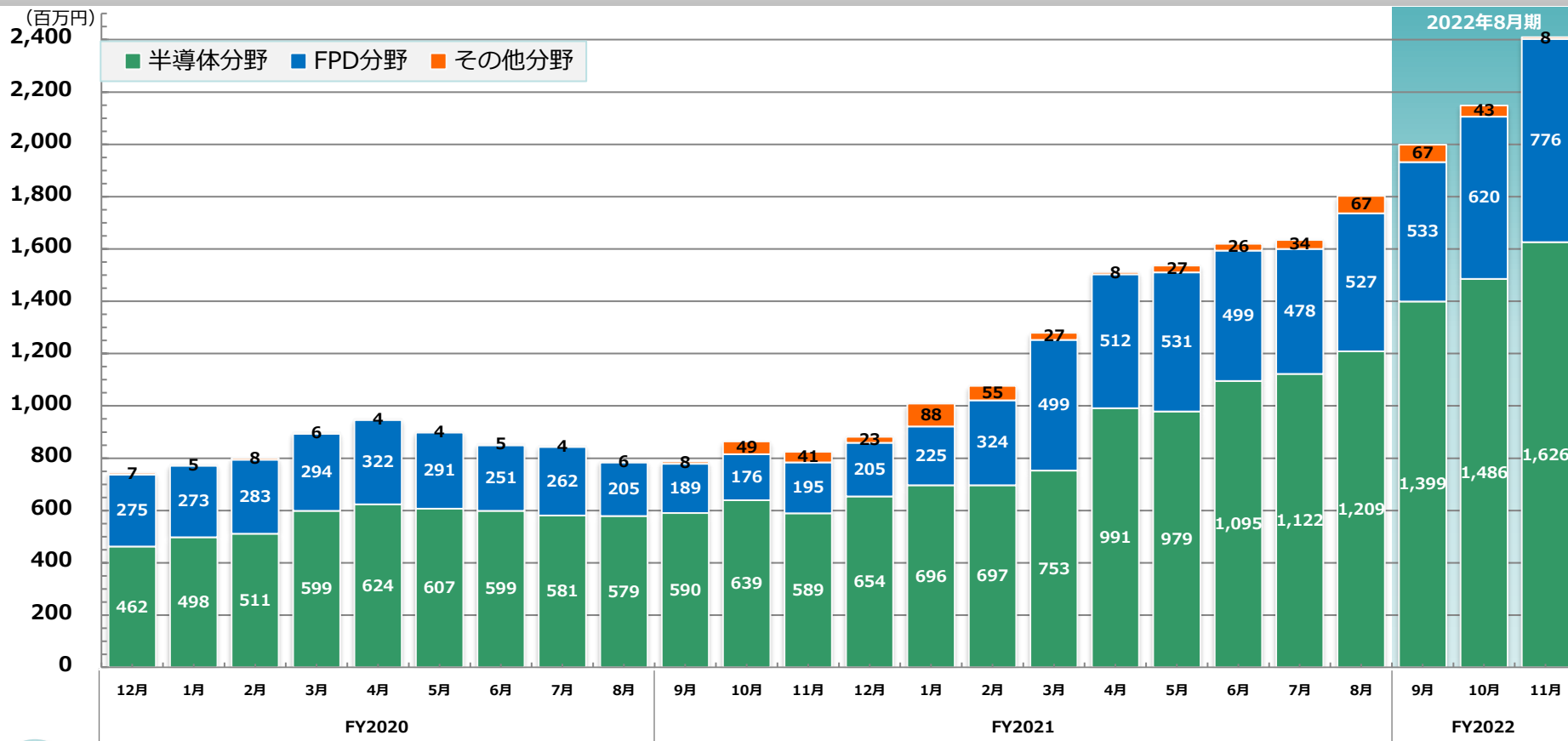
Point

- ① 資産：10,794百万円(前期末比:1,051百万円増加)
 - ・売上債権：440百万円増加
 - ・機械及び装置：265百万円増加
- ② 負債：4,224百万円(前期末比:808百万円増加)
 - ・長期借入金：420百万円増加
 - ・前受金：105百万円増加
- ③ 純資産：6,570百万円(前期末比:242百万円増加)
 - ・配当金の支払い：179百万円
 - ・利益剰余金：243百万円増加
 - ・自己資本比率：64.9%→60.9%



2. 事業環境

月次受注残高の推移



- Point**
- 半導体分野：市場好調で、既存・新規顧客ともに受注増加し生産力超過が続く 一部に前倒し発注もあり
 - FPD分野：G6 OLED（有機EL）向け好調 G10.5液晶向け期間限定回復 シェア拡大が受注に貢献
 - その他分野：太陽電池製造装置向け受注再開

※受注には長短のリードタイム（LT）があり、LTの長い案件が多いと受注残は多くなり、LTが短い案件が多いと受注残は低く表れます。
 ※2022年8月期より「収益認識に関する会計基準」を適用しており、当月末受注残高には8百万円の有償支給材分が含まれております。

2. 事業環境

今後の販売分野別の環境と方針等

半導体分野

- ◆ 全般的に好調ななか、特にロジック向け急増続く
- ◆ ロジック拡大に伴いエッチャーとCVD工程の受注増加
- ◆ 市場拡大へ積極的設備投資と人材採用で対応する方針

FPD分野

- ◆ 市場環境は回復しG6 OLED拡大は継続
- ◆ G10.5液晶投資は一部継続 G8やG5など新たな動き
- ◆ 市場回復で足元は生産能力ひっ迫 追加設備投資検討

その他分野

- ◆ 太陽電池向け拡大傾向
- ◆ 複数案件受注見込みも生産余力少なく、設備投資検討

3. 2022年8月期の業績予想

来期の見通し（損益・設備投資・固定費要因）

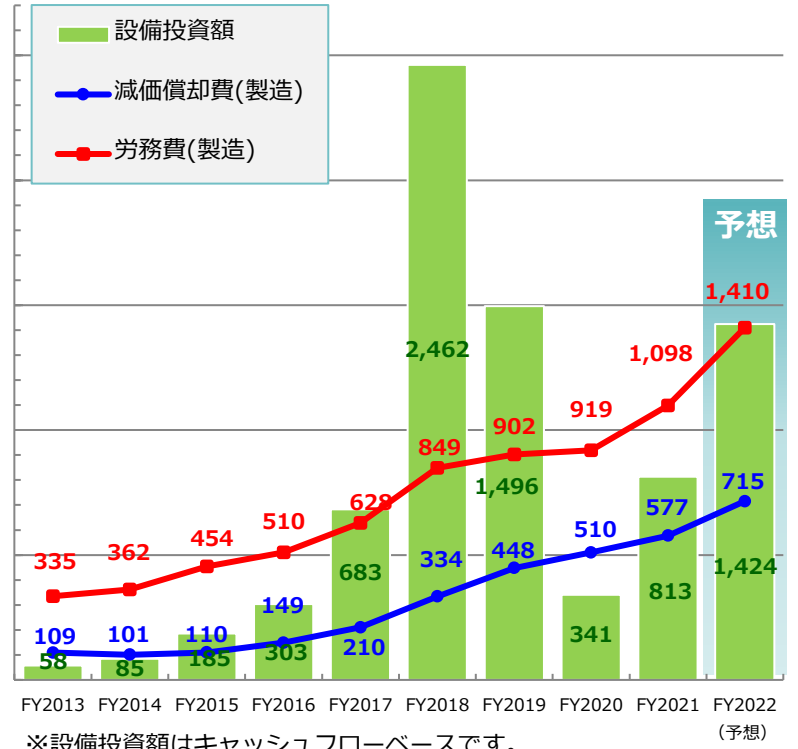
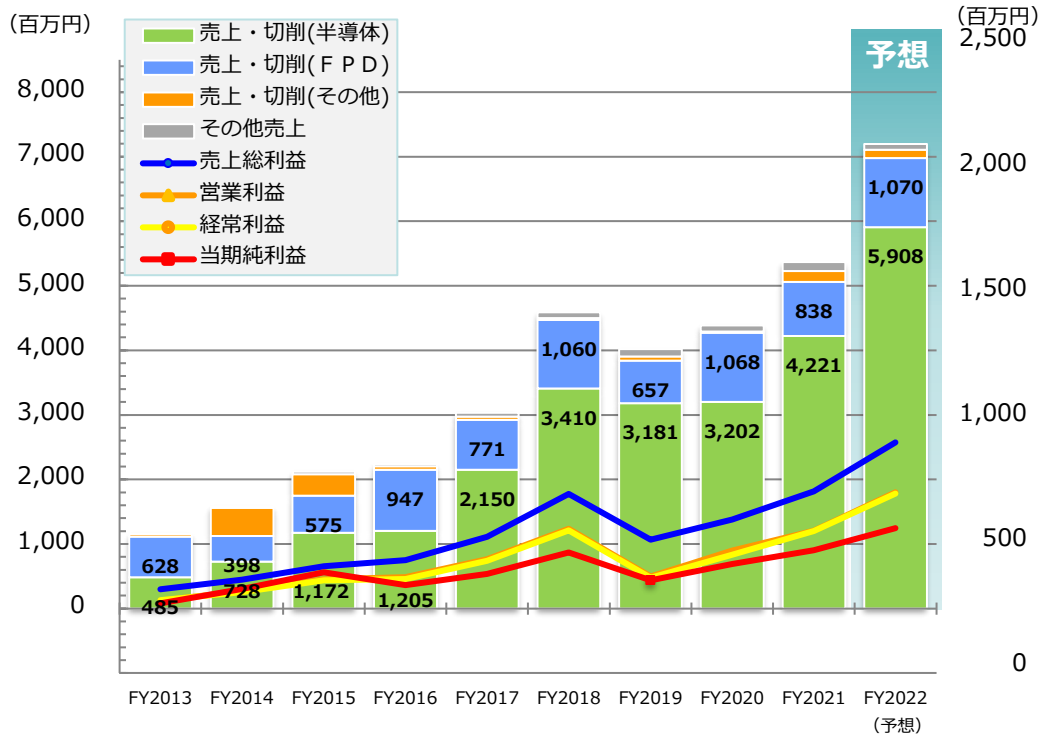
業績
予想

2022年8月期 業績予想	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	純利益 (百万円)	1株当たり 純利益(円)
第2四半期(累計)	3,540	900	890	623	48.68
通期	7,200	1,800	1,780	1,245	97.30

Point

- ✓ 売上高・利益共に過去最高更新見込み
- ✓ 市場シェア拡大目指し積極投資と採用増加（採用増と労働分配率も向上方針）
- ✓ 月産7億円（半導体5.5億、FPD1.5億）を超える生産力へ設備投資継続

損益見通しに対しての進捗は順調。設備投資はさらに増額を計画中



私達は持続可能な経営を念頭に
技術で社会貢献できる企業を目指します

注意事項

本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、マルマエ経営陣の判断など不確実要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様にマルマエの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など直接的な投資判断を提供するものではありません。投資に関する責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問合せ先

株式会社マルマエ 管理本部総務課 IR担当

ir@marumae.com

TEL 0996-68-1140 FAX 0996-68-1151

Company Profile

企業情報

参考資料（現事業の始まり）

現在の事業はレース活動から始まりました

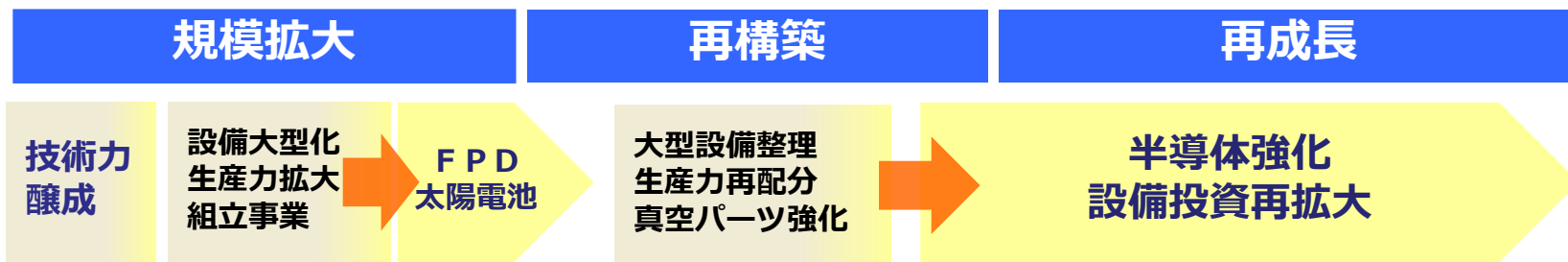
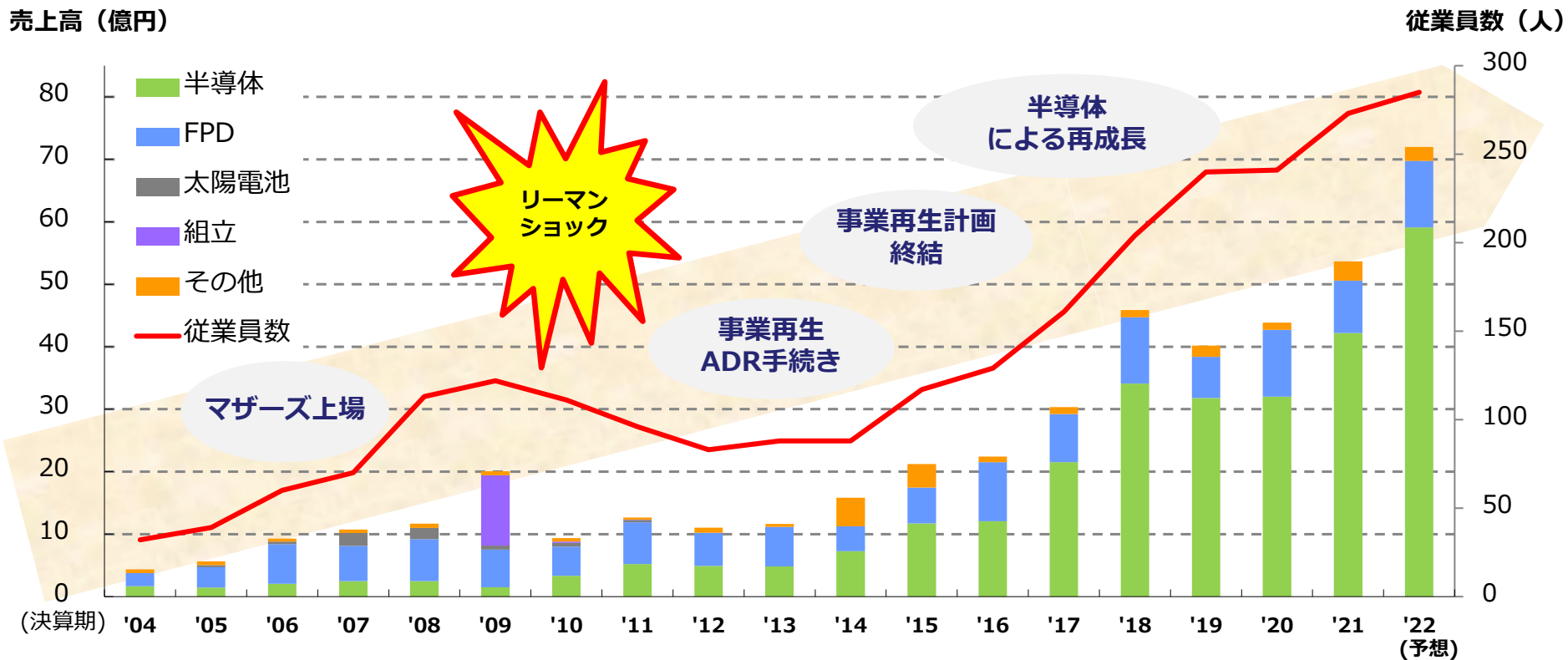


参考資料（沿革と事業変遷）



参考資料（沿革と事業変遷）

事業成長と成長ドライバー



参考資料（現在の事業内容）

当社製品は世界中で半導体・液晶製造装置の心臓部を支えています

主要工程

エッチング
CVD
コータ/デベロッパ
スパッタ
枚葉洗浄
アッシング
ウエハーボンディング
イオン注入
アニール

主要製品

真空チャンバー
シャワーヘッド
排気板
静電チャック
ヒーター類
上部電極
ターゲット
搬送系パーツ類
各種真空パーツ類

※画像はイメージです

参考資料（会社概要）

会社名	株式会社マルマエ（Marumae Co., Ltd.）
設立	1988年10月
資本金	12億4,115万円（2021年11月30日現在）
役員	代表取締役社長 前田 俊一 取締役 海崎 功太 取締役（監査等委員）外西 啓治 取締役 安藤 博音 取締役（監査等委員）桃木野 聡 取締役 門田 晶子 取締役（監査等委員）山本 隆章 取締役（監査等委員）宮川 博次
従業員数	277名 うち 臨時雇用者等 120名（2021年11月30日現在） 他 派遣社員44名
所在地	出水事業所 〒899-0216 鹿児島県出水市大野原町2141番地 高尾野事業所 〒899-0401 鹿児島県出水市高尾野町大久保3816番41 関東事業所 〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・精密機械、精密機器の設計、製造、加工 ・精密機械部品の設計および製作 ・産業および医療機械器具の設計、製造、販売 ・ソフトウェアの開発、販売 ・製缶工事 ・配管工事 ・運送業務 ・不動産の賃貸
経営理念	<ul style="list-style-type: none"> ・技術は究極を目指し ・競争と協調を尊び ・技術注力企業として社会に貢献する <p>経済を支える“モノづくり”の中で、モノづくりの源流である部品加工にこだわっていきます。そして、さまざまな分野で総合メーカーを支えられる企業となるために先端技術と供給力を持つ部品加工のリーディングカンパニーを目指します。</p>

発行済株式総数	13,053,000株	
単元株式数	100株	
株主総数	9,684名	
大株主 (普通株式)	前田 俊一	4,819,000株
	前田 美佐子	504,000株
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	417,700株
	川本 忠男	219,500株
	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	209,400株
	SMBC日興証券株式会社	185,100株
	前田 良子	180,000株
	株式会社日本カストディ銀行（信託口）	172,300株
	五十嵐 光栄	168,000株
	マルマエ共栄会	136,400株
（注）自己株式が250,196株あります。 （2021年8月31日現在）		